データ持出

❶ 内容を確認

❷ 持出 実行

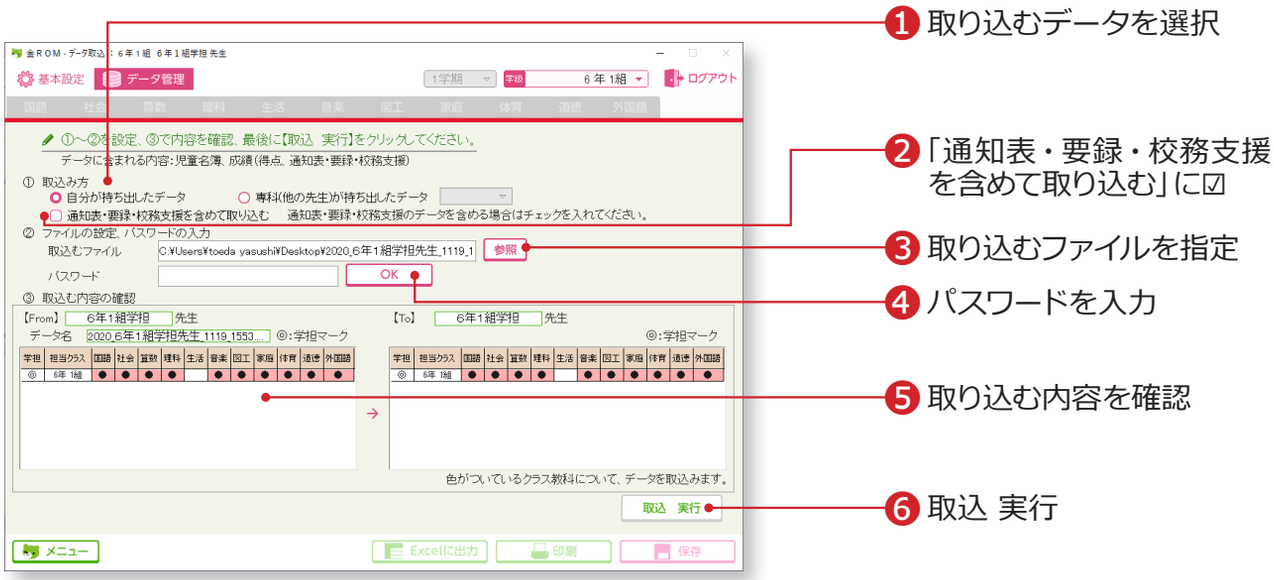
❶表で持ち出しデータの内容を確認します。

❷「持出 実行」をクリックします。

Point

持出したデータのファイル名は変更しないでください。取り込むことができなくなります。

データ取込



❶取り込むデータを「自分が持ち出したデータ」または「専科（他の先生）が持ち出したデータ」から選択します。

❷通知表・指導要録のデータを含めて取り込む場合は☑をします。

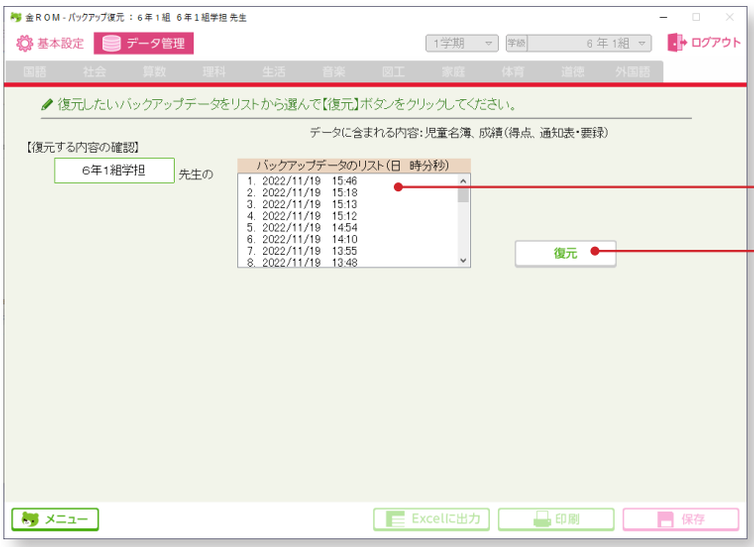
❸「参照」をクリックし、取り込むファイルを指定します。

❹ログインパスワードを設定している場合は入力し、「OK」をクリックします。

❺【From】で取り込み元と、【To】で取り込み先の内容を確認します。

❻「取込 実行」をクリックします。

バックアップ復元



❶ バックアップデータを選択

❷ 復元

❶バックアップデータを選択します。

❷「復元」をクリックします。

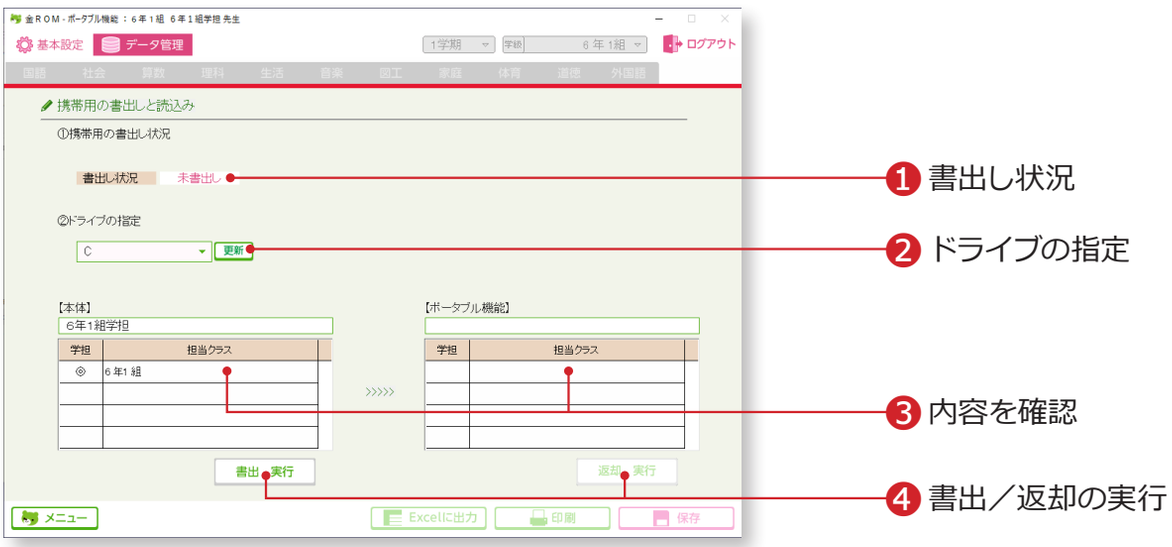
Point

バックアップデータのリスト

ログアウト時にバックアップが作成され、データの作成日時が画面内に表示されます。

→バックアップの設定（P.114 へ）

ポータブル機能



持ち帰り用の金ROMを書き出したり、返却したりすることができます。

書き出したファイルは、金ROMがインストールされていないパソコンでも起動することができます。

「ポータブル金ROM」を書き出す

❶「携帯用の書出し状況」が「未書出し」になっていることを確認します。

❷「ポータブル金ROM」を書き出す先を指定します。書き出したいドライブが表示されない場合は、「更新」をクリックします。

❸書き出す内容を確認します。

❹「書出 実行」をクリックします。

「ポータブル金ROM」を返却する

❶「携帯用の書出し状況」が「書出し中」になっていることを確認します。

❷「ポータブル金ROM」がある場所を指定します。

❸返却する内容を確認します。

❹「返却 実行」をクリックします。

Point

データを書き出した先生は、「ポータブル金ROM」でのみ入力作業が可能です。

Point

返却をすると担当教科についてはデータが上書きされるため、学級担任の先生と専科の先生でデータベースを共有している場合はご注意ください。

バックアップの設定

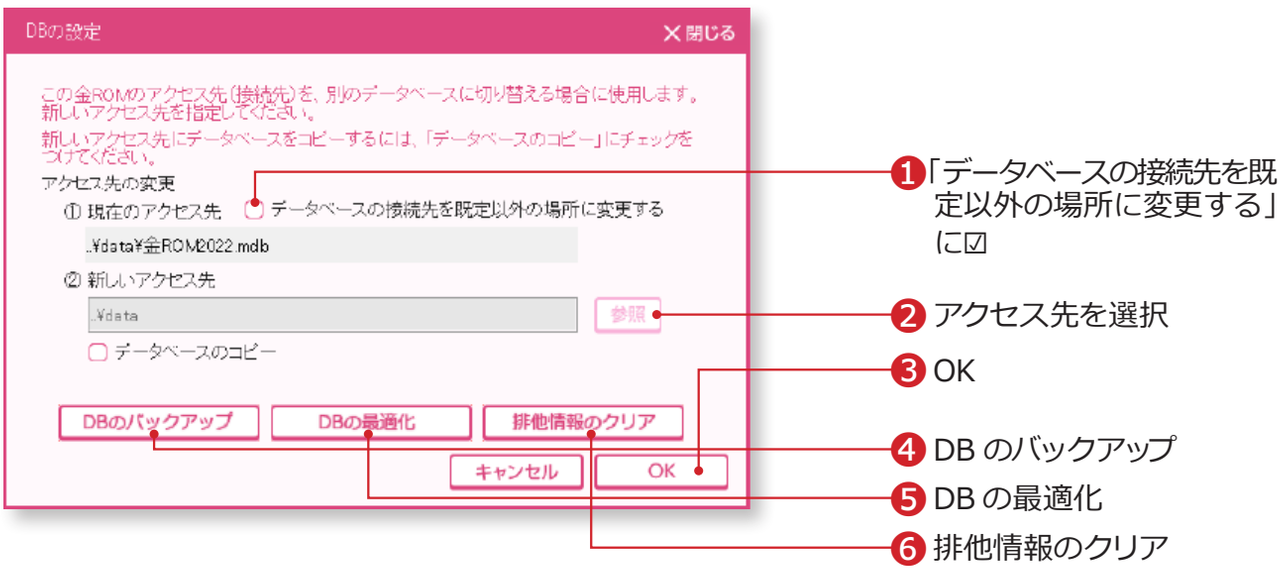
❶「データをバックアップする。」に☑をします。

❷「自動」はログアウト時に必ずバックアップします。
「手動」はログアウト時に、バックアップするかを選択します。

❸バックアップするデータの数を入力します。（最大 30 個まで）

❹バックアップ先を変更する場合は、「バックアップ先を既定以外の場所に設定する」に☑をし、保存場所を指定して、「OK」をクリックします。

DB（データベース）の設定



金ROM のアクセス先（接続先）を別のデータベースに切り替える場合に使用します。
データベースだけ USB メモリに入れる場合や、共有フォルダに置く場合に使用します。
データベースは「金ROM」フォルダの中の「data」フォルダにあります。

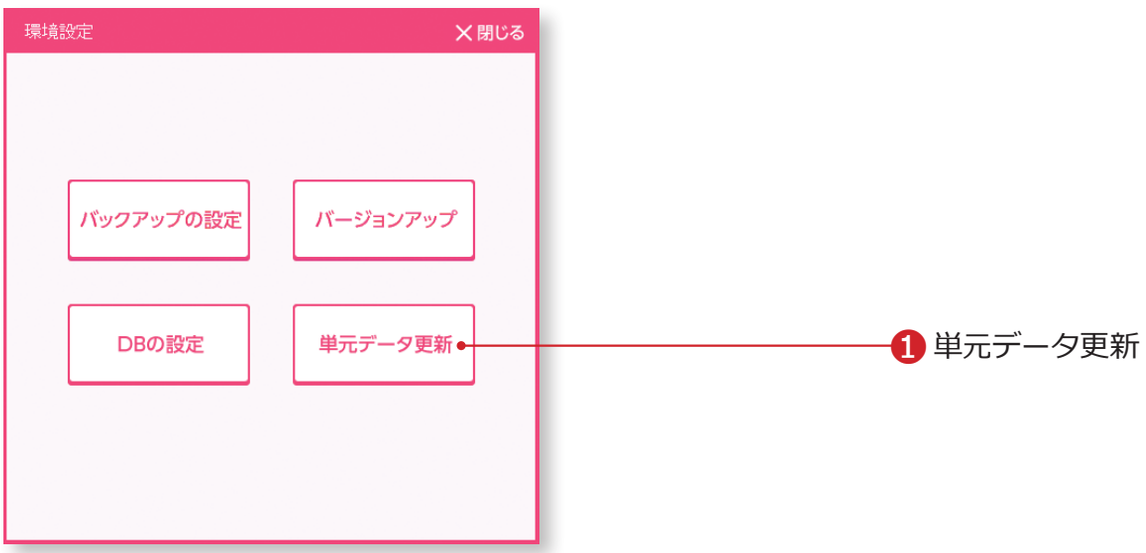
❶「データベースの接続先を既定以外の場所に変更する」に☑をします。
❷「参照」をクリックし、新しいアクセス先を選択します。
❸「OK」をクリックします。
❹DB のバックアップ・・・データベースファイル全体をバックアップします。複数クラスで使用する場合、全クラス分をバックアップできます。
❺DBの最適化・・・データベースファイルを整理して、サイズを小さくします。
❻排他情報のクリア・・・データベースを共有している場合、同時に使用したクラスがロック状態になり、ログインできなくなることがあります。この場合は「排他情報のクリア」を実行します。

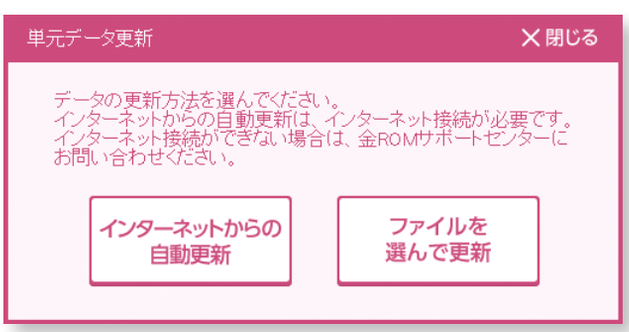
Point

「排他情報のクリア」実行前に

データベースを共有している場合、「排他情報のクリア」の実行前に、一度すべての金ROM を終了します。
その後で金ROM を 1 つだけ起動して実行してください。

単元データ更新



❶単元データ更新・・・教科書の正誤修正などで単元データの更新が必要な場合にクリックします。

❷データの更新方法を選択します。